



議会だより



あさぎり



あさぎり町議会 検索

6 月
定例会

一般会計補正予算

原案通り可決 2～3P

一般質問に 12 人が登壇 6～11P



あさぎり中学校
郡市中体連で

大活躍

2億4,014万5千円を追加し

一般会計補正予算

総額

100億718万8千円

第2回定例会が、6月11日から14日までの4日間の日程で開催された。

一般会計補正予算等が提案され、すべて原案通り可決された。

また、一般質問では、12人が登壇し、様々な視点から町政を質した。

審議内容の抜粋

基金費として

2億464万3千円

まちづくり基金9,264万円、公共施設整備基金に3,436万円、財政調整基金に7,657万円を積み立てて、後年の財源不足を賄い、まちづくりに活かしていく。

あさぎり町の歌のCD制作費用

4月14日の合併10周年記念式典で披露されたあさぎり町の歌のCD作成費用として20万円。CD内容は、歌が入ったものとカラオケで構成。

球磨川マラソン大会補助金300万円

昨年まで夏場の開催であった大会を今年11月24日に時期を変更し、合併10周年記念大会としてゲストラランナーを迎えて開催する。

スマートインターチェンジ整備準備室職員派遣負担金等220万円

一般事務職員を協議会の中で雇用するため10市町村の均等負担金として20万円を支出する。人吉市に準備室を設置し錦町、あさぎり町、多良木町の負担により職員を1名派遣する費用として200万円を支出する。

問 他町村の考えはいかがか、またいつまで負担金が必要か。

答 緊急度が高いと考え、支援していく意向である。負担金の支出は3年ぐらいを目安にしたい。

利子及び配当金 財産運用収入2億1,214万6千円

問 金融緩和で金利情勢が不安定になっているので慎重な運用が必要ではないか。

答 20年国債、30年国債等の長期国債での運用については、利子は魅力的だが危険性を伴うものもあるので、市場動向を見ながら慎重に行い、安全性の高いものだけに切り替えていく。

**生ごみ収集運搬委託料
154万6千円、生ごみ処
理委託料159万2千円**

生ゴミの分別収集による堆肥化事業を
昨年度より進めています。現在、吉井、
吉井住宅、八幡町、本町、大正町の5地
区より本年度は、新たに築地、久鹿、二
子、黒田、永才、下乙の6地区を対象に
追加して実施する。

問

生ごみ肥料化での生ごみ減量の効
果は。

答

免田五地区で実施して3ヶ月で20
トンの生ごみを収集し、4トンの
肥料が製造できた。この事業は、可燃ご
みの減少とリサイクルの推進を目的とし
ており、数値的な効果がわかるのは12月
ぐらいだと思われる。

**起業支援型地域雇用創造事
業委託料1、695万9千円**

起業して10年以内の民間企業やNPO
等を対象とし、失業者を雇い入れること
に補助金が出る事業。

問

対象の会社として不適切だと思え
る情報が多いが、公金を支出する
前によく調べる必要があるのではない
か。

答

事業の決定は、県の労働雇用課に
設置する有識者会議にゆだねる事
になる。この会社の経営状況や事業計画
を詳細に吟味し、執行に当たりたい。
(起業支援型地域雇用創造事業委託料に
ついては、削除した原案を議決した。)

**熊本県南フードバレー推進
協議会負担金58万1千円**

賛同する市町村で推進協議会を設立す
る。25年度は、2千万円の運営費を県が
2分の1、市町村が2分の1の負担をし
て事業を行う。

問

事業計画の説明を求める。

答

農林水産業者や商工業者、関係団
体、県や県南15市町村の相互の情
報共有や連携体制を作り、食に関連した
ネットワークを構築する。生産、加工、
人材育成等を幅広く支援する。

**夏菌ほだ木売り払い収入
106万5千円**

山の幸興社が合併記念公園で生産して
いた夏菌ほだ木7、104本を山都町の
九州ネーブルファーム安永農園に売却
し、産業活性化基金へ積み立てる。

**公有林整備事業
128万3千円**

深田内山地区の分収林4・4ヘクター
ルを、町が再造林をする経費相当額で購
入することで、山林の造林費用を抑える
もの。

教育費国庫委託金20万円

文部科学省の委託事業、「確かな学力
の育成に関わる実践的調査研究」にあさ
ぎり中学校が選定された。2カ年の継続
事業で、先進地の取り組みを参考に、授
業の工夫、改善、家庭や地域と一体となっ
た学校づくりを進め学力向上を目指す。

条例の制定及び改正

議案第 2 号

あさぎり町一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定について。

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、平成 25 年 7 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの間における一般職の職員（基本給のみ）、町長、副町長及び教育長の給与を月額 2%減額する。

※国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の概要（平成 24 年法律第 2 号）

平成 23 年 9 月 30 日付けの人事院勧告に鑑み、給与の改定について定めるとともに、我が国の厳しい財政状況及び東日本大震災に対処する必要性に鑑み、一層の歳出削減が不可欠であることから、国家公務員の人件費を削減するため、国家公務員の給与に関する特例を定めるもの（地方公務員の給与については、地方公務員法及びこの法律の趣旨を踏まえ、地方公共団体において自主的かつ適切に対応）

議案第 1 号

あさぎり町の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

従来の学校薬剤師の職務に加え、歯科予防に効果のあるフッ化物洗口を実施すること。また管内の学校薬剤師報酬額との均衡を図るため、17,300 円→37,300 円/年に変更する。



フッ化物洗口をする子どもたち

議案第 4 号

あさぎり町公益法人（社会福祉協議会）等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

公益的法人（社会福祉協議会）等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律第 6 条第 2 項の規定により、条例で定めるところにより支給することができる派遣職員の給与について、他の職員との均衡を図るため、その種類に通勤手当及び勤務手当を加えること。



議案第 3 号

あさぎり町保育所条例の一部を改正する条例の制定について

保育所派遣職員の雇用期間が、9 月末以降延長できないので、外部委託する為指定管理者制度を導入する。



議案第 6 号

あさぎり町立あさぎり中学校開校準備委員会条例を廃止する条例の制定について

平成 24 年 4 月 1 日においてあさぎり町立あさぎり中学校が開校し本条例の設置趣旨及び業務が終了したことから、本条例を廃止する。



議案第 5 号

あさぎり町学校規模等適正化審議会条例の一部を改正する条例の制定について

あさぎり町地域審議会条例が廃止され、新たに「あさぎり町まちづくり審議会条例」が制定されたことに基づく為。



発議第 1 号

あさぎり町議会基本条例の制定について

地方分権が進む中、町村議会は、これまでの先例や慣行にとらわれることなく、多様化する住民の



意識やニーズを反映するための新たな試みに取り組むなど、的確な対応が求められている。このため本議会はなお一層の議会改革・議会活性化を図るため、「町民に開かれた議会」を目指した取り組みを行っている。議会及び議員は、これらの取り組みを継続し、自らの活動のあり方を見つめ直しながら、議会の機能を駆使して与えられた役割と責任を果たしていくため、本条例を制定する。

議案表決一覧

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
平成 25 年度あさぎり町一般会計補正予算(第 1 号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度あさぎり町介護サービス事業特別会計補正予算(第 1 号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度あさぎり町簡易水道事業特別会計補正予算(第 1 号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度あさぎり町水道事業特別会計補正予算(第 1 号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度あさぎり町下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度あさぎり町上財産区特別会計補正予算(第 1 号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度球磨郡障害認定審査事業特別会計補正予算(第 1 号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度球磨郡介護認定審査事業特別会計補正予算(第 1 号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

教育行政についてと通学路の問題点を問う

徳永 正道 議員

少子化対策の対応は

奥田 公人 議員

10 P

議会に約束した事を果たしていないが

溝口 峰男 議員

三島柴胡栽培について生産体制等をどう確立していくのか

豊永 喜一 議員

11 P

県営清願寺ダムの責任放流による小水力発電設置が可能か

橋本 誠 議員

10年後、20年後に魅力ある町であるための方策について

久保 尚人 議員

8 P

三島柴胡の振興策は

永井 英治 議員

元気のでる町づくりについて

久保田 久男 議員

9 P

問 営農支援センター

立ち上げ時期は

副町長

早急に取り組みたい



小見田 和行 議員

された。その中からどの事業に重点的に取り組むつもりか。
農林振興課長 まずは、事務支援事業、農用地利用集積円滑化事業、農作業の受託事業の調整は有力と考えている。

◎その他の質問

文化遺産の継承について。

小見田 農業支援センター構想も十数年経過している。いまだ設立はなされていない。T P P等に向け、流動的な農政展開のなか、まだその機は熟していないのか。
副町長 合併前より農業関係の業務に携わった経験上、答弁するが、設立に向け今後は早急に舵をきりたいと考えている。また将来の経営体の形態予測は難しいが、農家を支援できる体制（組織）は一つ持っておきたい。



力を合わせての溝浚え作業

問 町立保育所臨時職員の今後の雇用は

福祉課長

社協派遣に移行しても現状と変わらない



加賀山 瑞津子 議員

に説明しながら不安を解消していただき、十月一日移行にむけて仕事の環境づくりをしていく。

福祉課長

社協派遣に

移行しても保育行政は継続する。



豊かな自然の中の町立須恵保育所

加賀山 後期高齢者の健診の補助について。特定健診受診率の目標は六十五％であるが、今春の実績は。

町民課長

平成二十四年度実績特定健診：五十八％ 後期高齢者健診：十五・九八％（後期高齢者はかかりつけ医で検査を受ける人が多い為）

加賀山 元気で長生きできる町づくりのひとつとして交通弱者への足の確保やピロリ菌検査・肺炎球菌ワクチン接種への補助等検討してみたい。

町長 内容を勉強しながら今後も予防医療に努めていきたい。

加賀山 子育て支援のスタッフはまさに保育所であるが、社協指定管理委託へむけての具体的な方策は。今後も子ども達のために地域で頑張る人を是非後押ししていただきたい。

町長 しっかりと対象の方々

6P

営農支援センター立ち上げ時期は
小見田 和行 議員

町立保育所臨時職員の今後の雇用は
加賀山 瑞津子 議員

7P

徴収向上に向けた取り組みは
森岡 勉 議員

子ども医療費助成方法は
皆越 てる子 議員



森岡 勉 議員

森岡 地方財政が厳しい状況下
にあり、新たな財源を見い出すこ
とも困難な時期は、既定財源の確
保が重要であり、即ち町税等の徴
収率の向上により確保できると思
う。又、負担公平見地や、住民
へのサービス供給は税の還元であ
り、これに基づいた行政運営は。

町長 公平性を持った取り組みで
対応している。今後は周辺町村と
連携した取り組みも検討してみ
る。

森岡 総合窓口課の設置計画を進
めているが、出向体制による対応
の考えは。

副町長 総合窓口は町民へのワン
ストップサービスが大きな目的で
あり、一環として収納業務の効率

副町長

徴収向上に向けた取り組みは
収納体制の一元化を検討

化を含め検討したい。



徴収業務にあたる税務課

※ワンストップサービスとは
一度の手続きで、必要とする
関連作業をすべて完了できるよ
うに設計された行政サービス。
行政改革の一環として、行政手
続きの電子化や広域連携によっ
て、手続き回数を減少させ、コ
スト削減と利便性の向上を図る
こと。

子ども医療費助成方法は

町長 平成 26 年度に向けて再度検討する



皆越 てる子 議員

◎その他の質問
学校給食について

皆越 昨年の九月三日、議員懇談会の折り、
担当より子ども医療費の助成方法見直し案
を、詳細に説明され、平成二十五年度より現
物給付から償還払いに移行されるものと確
信していた。しかし、今年二月二十八日の議
員懇談会に於いて、昨年の九月以降の経過
説明があり、一月十六日に町内の医療機関
から反対意見の要望があった。又、二月八日
には、町内の医療機関との意見交換会も実
施された。その後、現行のままの助成方法で
事業を実施する判断をされた経緯を伺う。

町長 今年に入って、支払方法変更通知文
も用意し、一部出しながらその後、意見交換
をする場を持った時に大きく二つの事を指
摘された。

①突発的に子どもが病気になった時に保護
者の対応が遅れ重症化する恐れがある。

②コンビニ受診・夜間診療・休日診療等の問
題があるので、医師会も行政と連携をし
ていく。

助成方法については再度検討する。



歯科検診の様子

問 県営清願寺ダムの責任放流による 小水力発電設置が可能か

農林振興課長 設置する方向で県と協議している

農林振興課長 ダムの放流水は調圧水槽に入り責任放流口から流す部分と土地改良区へ流す部分に分かれている。現在、調圧水槽に入る前に発電機を設置する方向で県と協議している。清願寺ダムは県営なので、県が発電

橋本 新エネルギー対策で、代替エネルギーとして、太陽光・バイオマスなど取りざたされている。農山村の資源を活用して行う再生可能エネルギーの発電事業から得られた収入を地域の農林業の発展に活用するため、渇水期の水量の確保等の課題が有る。県営清願寺ダムに小水力発電設置ができないか。



橋本 誠 議員



県営清願寺ダムの調圧水槽

益を取るか、町が取るのかという部分について確定していない。町としては、土地改良区の施設の老朽化の更新費用の一部に充てたいと考えている。

橋本 早期に実現できるようにお願いする。

◎その他の質問
通学路の安全確保と整備の進捗状況について

一般質問

問 10年後、20年後に魅力ある町であるための方策について

町長 子どもたちの将来にとって、南稜高校のweb情報科新設については、有望な取り組みだと考える

子どもたちに、情報処理技術などの時代が求める学問に興味を持たせて、あさぎり町に帰ってきて、専門性を活かして働

久保 若者の将来設計と町の成長をリンクさせるには、どのような方策が必要か。

町長 南稜高校と連携を深めて産業に繋げたい。

久保 町を元気にするには、人を育てることだ。子どもたちに、情報処理技術などの時代が求める学問に興味を持たせて、あさぎり町に帰ってきて、専門性を活かして働

久保 いくら様々な行政サービスが用意されても、そこに仕事が無ければ暮らせない。若者が地元で生活ができる収入を得られる機会を作ること、これがあさぎり町長としての大命題だと思うが。

町長 町長を目指していた頃、仕事作りに貢献したいという思いが強かった。



久保 尚人 議員

情報処理技術者試験（国家試験）

- レベル 1: 職業人に共通な基礎知識 …… **IT パスポート試験**
- レベル 2: 基本的知識・技能 …… **基本情報技術者試験**
- レベル 3: 応用的知識・技能 …… **応用情報技術者試験**

就活・転職において、IT パスポート資格や基本情報技術者資格を持つことで、IT 知識を身につけている人材だと証明することができるため就職に有利。レベル 3 以上の有資格者は、かなり専門的な知識を身につけている即戦力となる人材である。

取り組むべきである。

町長 web 情報科を南稜高校に作ることは、多くの課題もあるが、有望な取り組みだと思う。

けることが必要。子どもたちの夢が現実になるよう支援していかねばならない。長いスパンでの計画となるが、真剣に

問 三島柴胡の振興策は

農林振興課長

農林振興課長 県球磨地域振興局とも

連携して取り組む

永井 葉草（三島柴胡）栽培の普及に向けた振興策は。また、その一つとして三島柴胡の展示圃を設置できないか。

有収率の向上に向けた取り組みは。上下水道課長 日常的には目視ができないため、漏水の発見等があった場合に修理している現状だが、現在調査を委託している業者は音聴機械で漏水箇所を調査発見して、有収率向上に取り組んでいるのが現状である。



永井 英治 議員

農林振興課長 球磨地域振興局の球磨地域企業の農業参入等支援会議の中で、株式会社ツムラも同席の上、実証展示圃の設置・現地検討会の開催・担当者関係機関連絡会議の設置が計画されている。また、県農研センターでは二十六年度以降の研究課題として三島柴胡を取り上げる事となっている。



葉草三島柴胡

問 元気のでる町づくりについて

町長

住民自ら参加して自主活動等積極的に取り組むこと



久保田 久男 議員

久保田 住民の自治意識を高めることは、地域の元気、ひいては町の元気につながる。その為の地域サポートとして、前回取り上げた西米良村で実施している役場職員の各区への担当配置が出来ないか。

町長 「元気の出る町づくり」とは、住民自ら参加して自主活動等積極的に取り組まれること。配置の前に現在の区長会と公民分館長の役割等の整理から始めたい。

久保田 合併して十年、須恵地区では、過疎化の進む中で地域住民の希薄化を食い止め、昔からのハジアイとかちゃああを精神を取り戻そうと、和綿を地域おこしの起爆剤とする「和綿の里づくり」



和綿の里づくり会員による種まき

くりの会（小学校全児童、つつじヶ丘学園、地域住民）が発足した。教育委員会の考えは。教育長 教育委員会では、本年度から三年がかりで学校応援団づくりを始めている。学校でできない体験を地域の方々と共にする取り組みは、非常にプラスになるものと思っている。

問 教育行政についてと通学路の問題点を問う

町長

積極的に取り組み問題解決を図りたい

サポート
をやっている。山江村
に於いては
国語、数学、
英語等の学
力定着に繋
げる学習支
援教育を実



深田立岩付近

徳永 クラブ活動時に地域スポーツ愛好者との間に摩擦が生じている。社会教育施設を学校教育施設に編入することで解決できないか。

町長 学校教育施設への編入は難しいので学校側の現状に合わせて調整を図る。

徳永 人吉市では有志の方が復習を通して基礎学力を身につける



徳永 正道 議員

施している。本町でも取り組む考えは。

町長 今、町内のボランティア有志を募って応援団作りをやっているので期待している。

徳永 深田立岩付近の歩道設置を町長は二年前、地域の方に早急な取り組みを約束しながら、何の報告も今日迄していない事は、リーダーとしての言葉の重みという認識が薄いといわざるをえない。ここで約束をして頂きたい。

町長 他の箇所との順位を比較した上で問題解決を図りたい。

一般質問

問 少子化対策の対応は

町長

若い人達が仕事に就ける取り組みを



奥田 公人 議員

奥田 少子化対策は、若者が地元に残ってくれないと達成できない。その為には、仕事の確保が一番重要になってくる。町長は、若者が残れる町づくりを念頭に、企業誘致などによる仕事の確保に積極的に取り組んでいるが、まだまだ頑張ってほしい。年々子ども数も減って、どういう対策をとっているのか、難しい問題と思うが、町長の考えを伺いたい。

町長 どんなに厳しくてもつらくても、若い人達が仕事に就ける取り組みを継続して粘り強くやることだ。農業をさされている方や、色んな方を何人かずづ集めて意見交換等を是非実現したい。



剣道の防具づくり(株)全日本武道具センターあさぎり工場(旧須恵中跡に)

◎その他の質問

あさぎり町行政区再編について

問 議会に約束した事を果たして いないが

商工観光課長

大変申し訳なかった

溝口 町長は福岡のアンテナショップを来年三月末で終了する。販路拡大事業予算の執行は建設経済委員会と協議して進めると三月議会で約束した。三月月たつても約束を果たしていない。**町長** 今後の方向を決める段階で議会に説明するところまでいっていないかった。

商工観光課長 経過等の報告、協議ができなかった事、大変申し訳なかった。

溝口 推奨商品の認定において審査期間が長い。又食品以外の商品も検討すべきではないか。

商工観光課長 どちらについても見直しに向け検討したい。



溝口 峰男 議員



「はこわな」で捕獲したニホンザル

溝口 有害鳥獣対策にもっと力を入れるべきではないか。

町長 報償費の増額も検討し若手の狩猟者育成に取り組んでいく。

溝口 教育の出発点は家庭である。家庭教育の支援の充実を図るべきではないか。

教育長 「熊本親の学び」の研修を多く持ち、家庭・地域・学校と一緒にやってより以上の推進をしていく。

問 三島柴胡栽培について生産体制等を どう確立していくのか

町長

一定面積を確保し積極的に栽培を 推進していく



豊永 喜一 議員

豊永 三島柴胡栽培について生産者が年々増加し将来の農家所得向上が期待されるが、生産体制等をどう確立していくのか。

町長 一〇〇haを目処に、一定面積を確保し積極的に栽培を推進していく。

豊永 現在の指導体制、運営方法は。

農林振興課長 あさぎり薬草生産組合主体で行っている。

豊永 面積拡大を図る上では、行政主導でやるべきでは。

町長 もう一押し出来ないか、周辺町村とも連携し、検討したい。

豊永 営農支援センター構想の取り組み状況については。

副町長 産業活性化協議会で、最終的な案を叩いて十二月を目処に一つの形というものを十分固めて、設立にこぎつけた。



あさぎり薬草生産組合総会の様子

一部事務組合及び常任委員会報告

総務文教常任委員会

あさぎり町指定文化財の現地調査

平成二十五年四月十八日（木）、本庁舎に九時に集合をして、全委員参加の中、北川主幹の案内で町内の町指定文化財を終日かけて視察研修を行った。改めて歴史ある文化財が本町に現存している事に感動と誇りを委員一同実感をし周囲の環境整備を図りながら後世に伝えていかなければとの思いを強くした研修であった。



宮原観音堂に安置されている木造聖観音菩薩像

教育委員と意見交換

平成二十五年五月十日（金）、本庁舎白髪岳室に於いて十時より教育委員と教育行政全般にわたり意見の交換会を行った。内容としては、電子黒板の利用状況、体罰、いじめ・不登校の問題等それぞれ双方の委員から活発な意見が出され意義深い意見交換が出来、今後共、時間の調整を図りながら、意見交換会を開催していく予定である。

建設経済常任委員会

委員会研修

平成二十五年三月二十五日～二十六日、委員会研修を実施した。二十五日は玉名市役所において、六次産業の取り組みと販路拡大について説明を受けた後、意見交換を行った。六次産業確立のための推進体制が整っていた。また住民への説明もしつかりなされており十三品目が商品化されていたが、問題は販路拡大である。課題をしつかり挙げて取り組んでいた。二十六日は、福岡県春日市の（株）クロスエイジ直営店「時や」で、農業を産業化するための取り組みについて、三十一才の若き経営者、藤野氏から説明を受けた。

あさぎり町にもこの様な熱いまなざしで仕事に取り組む人材を多く育てることが地域の活力につながるので、委員会としてもしっかりと人材育成に力をそそいでいきたい。

三島柴胡栽培他

四月十七日、三島柴胡栽培に関して、生産組合前組合長小田氏他から組合の運営について意見を聴取し、現組合長愛甲氏からも意見を聴取した。年々生産者が増加する中で、課題も多くあるが、契約先の「ツムラ」の期待に応えることができる様に組合員が一致結束して問題解決に向けて取り組んでもらう様を請じた。

午後から山の幸開発事業について農林振興課に説明を求めた。議会が議決した、町長に対する二千万円の返還の一部に夏菌はだ木七、一〇四本を売却して一〇六万五千六百円を産業活性化基金に繰り入れるとの説明があったが後の残金については返還される計画はない。林業活性化については、木材乾燥施設が中球磨木材（有）敷地に完成した。今後「あさぎり産材」に付加価値をつけトータル林業の確立を急ぐことが林業の活性化に大きく結びつく。積極的な取り組みを行政と関係者が連携していくことが重要となるので農林振興課にはその事を要請した。

上水道漏水について

四月十八日、上下水道課から免田地区の上水道漏水について説明を受けた

があまりにも多くの量が漏水しているので早急に漏水箇所の調査を実施し対策を講じる様に要請した。

アンテナショップについて

六月四日、アンテナショップ事業及びふるさと振興社の運営について、商工観光課から説明を受けた。

三月議会時、町長が議会に約束した「販路拡大事業予算執行については委員会と協議をしながらしていく」との約束が守られていないことへの説明を求めた。

二十六年度に向けてふるさと振興社のあり方と販路拡大事業について関係者との協議の場を設置するよう要請した。午後は富農支援センターの取り組みについて説明を受けアンケート調査の結果を踏まえ、他の団体と競合しない事業を実施する支援センターを設置することが望ましいとの意見具申をした。

厚生常任委員会

保育所運営研修

平成二十五年四月二十六日、熊本県合志市社会福祉協議会の「保育所運営の取り組みについて」研修を実施した。社会福祉協議会が保育所経営を行う理由として

- ①子育て支援事業は、地域づくりのインフラ（下部構造整備）事業である。
- ②少子高齢化社会の中で、社会福祉の根幹となる健全育成事業である。
- ③合

志市は家働世帯の移住が多く、待機児童対策は福祉行政の課題である。④合志市社会福祉協議会では、子育て支援事業に10年以上の取り組み実績がある。⑤地域の課題こそが地域福祉であり、社会福祉協議会の取り組み事業である。県内では初めて社会福祉協議会が設置経営するこのみ坂保育園が四月一日に開設された。保育時間は七時から二十二時まで（現在は二十時三十分）実施されている。単に預ける、預かるの関係ではなく保護者や市民と協働の子育てを意識し、そのためには保護者と保育士、保護者間、園と地域との関係を形成する必要がある等の意識を持って取り組んでいた。

合志社協での取り組みや地域作りの姿勢は大変参考になった。あさざり町立保育所の今後の課題解決に向けて活かしていきたい。

人吉球磨広域行政組合議会

平成二十五年三月二十七日第一回人吉球磨広域行政組合議会が開かれた。議案第二号から十一号まで原案通り可決。人事案件の同意第一号監査委員の選任では代表監査委員に球磨村の豊永征介氏を選任。平成二十五年五月二十九日午前十時より第二回臨時議会が開かれ、監査委員の選任同意を求めることについては本町選出の豊永喜一議員が選任された。

あさざり町教育委員の選任同意



矢野 幸代さん（44 歳）

深田北 849

あさざり町議会
第 1 回会議で任命同意



桑原 茂和さん（67 歳）

岡原北 768

あさざり町議会
第 2 回会議で任命同意



講師：TBS テレビ報道局 解説・専門記者室長、杉尾秀哉氏

全国町村議会議長 副議長 研修会報告

第三十八回全国町村議会議長・副議長研修会について簡略に報告します。

金井東大教授は、基調講演で、平成の大合併により周辺部の旧町村は町村長や議会等の「声」を失い、衰退を加速させた。合併は、周辺部旧町村に対する国策としての「見放し・見捨て」であった。道州制は、町村合併の二の舞をより大規模に繰り返す。今度、県が声を失い、問題があるということすら発信できなくなり、町村の衰退は一段と加速し周辺部の疲弊も進む。

副議長 久保田 久 男

去る五月末に開催された研修会でのシンポジウムについて報告します。テーマは「これからの町村議会の有り方」についてであった。パネリストとして北海道鹿追町、岩手県西和賀町、茨城県大洗町、兵庫県播磨町の四名の議長によって活発な議論が展開。各議会においても積極的な議会改革が進められてきており、議会報告会は、どの議会においても悩まは同じだなあと感じたところです。鹿追町は、

議長 橋 爪 和 彦

また、職員のマンパワーこそが行政サービスの母体。財政だけの視点で職員数を引き下げると、町村の基礎体力が低下し行政サービスの形骸化を招く等々。地方分権改革は必要だが現行の自治制度改革には問題が多いとの立場で、議論展開された。

その他、昨年度特別表彰の四町の議長によるシンポジウムでは、定例議会後の総括、議会白書の発行、第三者審議会等の目新しい取り組みがあり、二日目の二氏による講演と併せ、充実した研修でした。

住民との直接対話を目的に「まちなか会議」として実施。他に子供議会、サンデー議会、ナイター議会を開催。西和賀町では、全行政区を対象に「住民の声を聴く会」を実施。大洗町は、各常任委員会を分割班割して実施。播磨町は、町長、教育長、議長共に女性とのこと、郡市部で参加者集めに苦慮されている。会場との質疑応答では、通年議会、反問権等について活発な質疑応答のシンポジウムでした。

“心の体制づくり” に期待します



深田下里
井上 秀 樹

私を感じているあさぎり町について記させていただきます。

あさぎり町が誕生してからの住民である私には、イベントをはじめとする様々な場面で、常に旧〇〇時代という表現が紙面上、発言にしばしば登場することに、特別に意識をすることもなく、ある意味、それが自然であると感じていたところもありました。時間の経過とともに、この町に溶け込んでいく自分が同じ様な発言をしている場面に遭遇する度に、その時は軽度な違和感が、ともすれば根深な問題に直結している様にも思えます。

いよいよ10年というひとつの節目を迎えた私たちの町について、再度住民一人一人が“あさぎり”への息吹を吹き込む時期に来ているのではないかと思います。住民の皆様もご存じの通り、行政としてはそれに対する様々な施策を検討・実行されていて各領域・立場で多くの住民の皆様が関わりを持ち、活動されている事も十分承知しているつもりです。今、町民の“故郷あさぎり”へのこだわり度、満足度、一体度ってどれぐらいなのでしょう。今後、これらを量る指標の策定、数値向上に向けた更なる具体的な、愚直な取り組みの提案を行政に期待するとともに、スピードある実行に結びつけるべく行政・議会・そして住民一体による体制づくり、何より思いが共有化された“心の体制づくり”がなされることを期待します。

『あさぎり町』に誇りと自信と夢を持った人々が集うことを願って…



榎田
別府 チ ヅ 子

心のぬくもりをありがとう

合併10周年、それぞれの地区の弊害を乗り越え、^{ようや}漸く気持ちの上では5ヶ町村が一体となった様に感じられる今日この頃です。その陰には、町の裏方として、苦しい財政の中、この町の発展と住民の暮らしの手足とならんが為に、職員一丸となって取り組んで居られる光景は感極まるものがあります。少子高齢化が叫ばれる時代、経済的にも不安定な現状ですが、職員の方々の温かい対応には、心のぬくもりと、心の豊かさを感じとる事が出来ます。私も高齢者で、個人的にも難病と闘い乍らの日々ですが、良く相談に応じて頂き、導いて下さいますので、不安はありません。住民の方々の中にも、職員の方々と同じ様な考えで、人々に対し心の豊かさを伝えて下さってる方が居られます。今、自分達に出来る事は何かを考え、家族の為、又、世の人々の役に立てる人間でありたいと願って止みません。職員の皆さん、地域の皆さん、心のぬくもりを、ありがとう。

編集後記

通年議会では、常に議会中であるために議員の活動と緊張感が高まり、議員の質の向上と議会の活性化が望めます。併せて地域住民の皆さんとの連携などが強化されます。

この秋にくま川マラソン大会が開催されます。町民主体の大会となるよう住民、議会、行政一体となって盛り上げましょう。

(加賀山)



広報委員 新メンバー
広報委員のメンバーも替わり皆様により身近な広報誌を目指してまいります。

編集・発行責任者

議長 橋爪 和彦

委員長 豊永 喜一
副委員長 加賀山 瑞津子
委員 溝口 尚峰
小出 高明
久保 誠人

橋本 尚誠



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。